

保護者の皆様もごいっしょに！！

「生きてはたらく力」をつけるための家庭学習を・・・

「我が子に自分の進みたい道を歩んでほしい」これは切実な親の願いです。そのためには、「やらせる学習」ではなく、「やる気になって学ぶ学習」ができるようにならなければなりません。

「やる気になって学ぶ」ようにするためには、次の3つの力が必要になってきます。

①学習に目標があること。

(「〇〇になるために」という夢、「小数の割り算の仕方を覚える」という目的など)

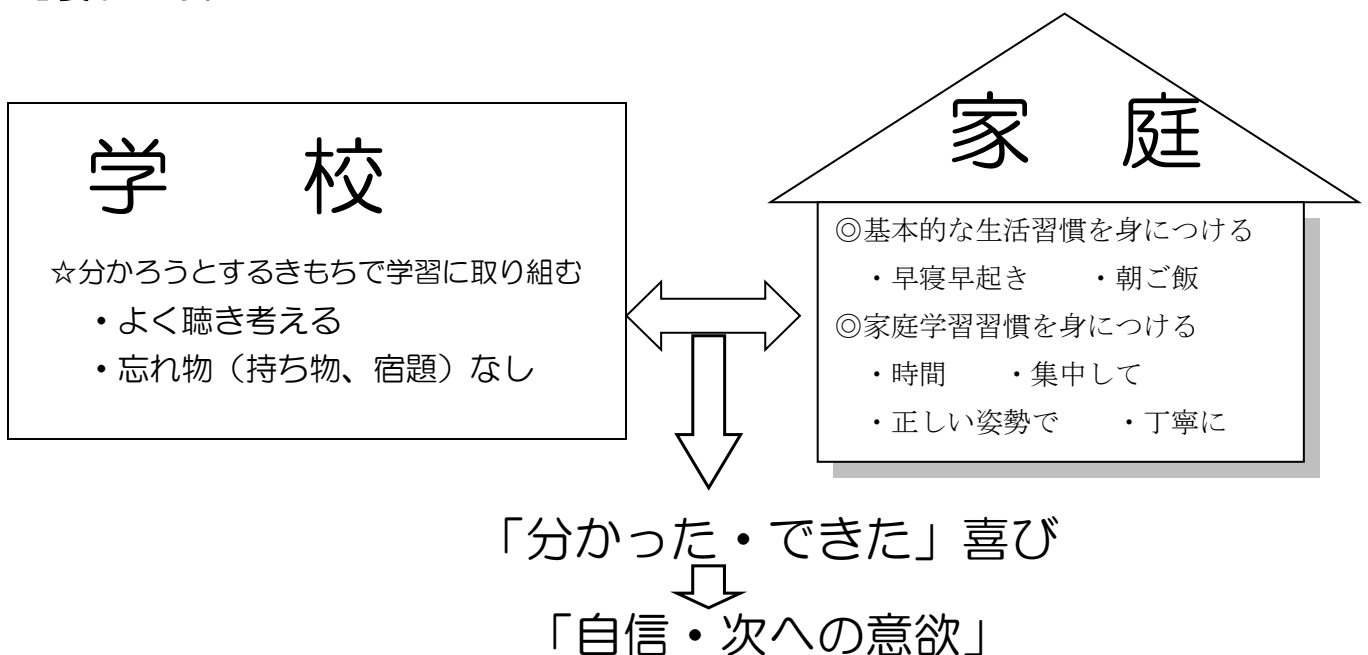
②学習するために必要な学力を身につけていること。

③家庭で一人学習の習慣が身につけていること。

(低学年においては、側で見届けることも必要です。)

そして、さらにお家の方の励ましの言葉や認めめの言葉が何より、子どもたちのやる気を支えます。

学校では「授業を大切に基礎基本を身につけること」そして、家庭では、学校で学んだことをさらに確かなものにするために、「理解をさらに深めること」が不可欠です。そのためにも、「家庭学習」が必要なのです。




これだけは守りたい！【家庭学習をするうえでのルール】

- ①担任から出された宿題を必ず行う。
- ②自主学習に取り組む。（4年生以上）
- ③取り組む時刻は、毎日決まっているとよい。
- ④集中して取り組む。（ながら勉強はしない。）
- ⑤丁寧な文字を書く。（いい加減な書き方は、やり直しとする。）

毎日担任から宿題が出されますが、個人によっては早く終わってしまう子、時間がかかる子など様々かと思えます。下記に家庭学習の時間、および内容についてまとめました。お子さんの様子を見ながら、「〇〇をやってみるといいと書いてあったよ」など声をかけて頂けるとありがたいです。

【学年に応じた家庭学習の内容】

	低 学 年	中 学 年	高 学 年																				
家庭学習の時間	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">めやすの時間</td> <td colspan="2">学年×10分+10分+読書10分</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>30分</td> <td>3年生</td> <td>50分</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>40分</td> <td>4年生</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5年生</td> <td>70分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6年生</td> <td>80分</td> </tr> </table>			めやすの時間		学年×10分+10分+読書10分		1年生	30分	3年生	50分	2年生	40分	4年生	60分			5年生	70分			6年生	80分
めやすの時間		学年×10分+10分+読書10分																					
1年生	30分	3年生	50分																				
2年生	40分	4年生	60分																				
		5年生	70分																				
		6年生	80分																				
やる気にさせる言葉 	「こんなことを勉強しているんだね。」 「30分ぐらいできるといいね。」	「学校の1時間分を一人でできたね。」 「集中できたね。」 「場面のようにすが伝わってきたよ」	「毎日、自分で考えて勉強できるね。すごいね。」 「間違った問題をそのままにしていないところがすごいね。」																				
家庭学習の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 音読 ひらがな、カタカナプリント 漢字練習（ドリル） 計算練習（ドリル） 読書 等 	<ul style="list-style-type: none"> 音読 漢字練習（ドリル） 計算練習（ドリル） 自主学習（4年生） 読書 等 	<ul style="list-style-type: none"> 音読 漢字練習（ドリル） 計算練習（ドリル） 自主学習 読書 等 																				
自主学習のすすめ	<ul style="list-style-type: none"> 国語の本文の視写 国語の教科書の巻末の漢字 算数の練習問題 週末の日記 等 	<ul style="list-style-type: none"> 週末の日記 新聞記事 3年生は写真 4年生は写真・記事 復習、テスト直し 国語の教科書の巻末の漢字 算数の練習問題 等 	<ul style="list-style-type: none"> 理科の教科書「たしかめよう」問題 社会の教科書まとめ 国語の教科書の巻末の漢字 算数の練習問題 苦手な教科の練習問題 復習、テスト直し 等 																				
	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の持ち方、姿勢に気をつけて書きましょう。 丁寧に書きましょう。（とめ・はね・はらい） 習った漢字は使って書きましょう。 間違った字を書いていないか見てもらいましょう。 計算問題は必ずすぐ丸つけをして、もう一度やりなおしましょう。 「正しくできる」から「正しく、速くできる」のようにレベルアップをさせましょう。 低学年は、お家の方に答え合わせをしてもらいましょう。 <p>☆学習のめあてを持ち（今日の内容を決めておく）、ふりかえりもしましょう。</p>																						
読 書	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を育みます。読み聞かせもいいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 長い物語文を読むといいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なジャンルの本を読めるといいですね。 																				

学校と家庭の双方で「やる気」を引き出し、「やる気になって学ぶ子」を育てていきましょう。